

第 49 号

発行所 茨城県筑西市中山590
茨城県立下館第一高等学校
紫西同窓会
TEL (0296) 24-6344(代)
FAX (0296) 25-4673
編集兼発行責任者 太田一也
印刷所 戸頃印刷所

紫西会報

平成を顧みて

紫西同窓会長 林 廣 明
(第四十一回卒)



消しました。

寂しい限りです。

私事ですが、私の仕事(司法書士)も大きく変わりました。

私が事務所を開いた昭和六十一年当時にバブルが始まり、平成三年にバブル時代は終焉を迎えました。その間、私は毎日仕事に追われる日々を送っていました。

平成最後の年の瀬と新年を迎えますと、五月一日には新しい元号の下での生活が始まります。

不動産業者が午前中に買い上げた土地が、その日の午後には高値で売却され、たった一日で何百万円もの利益を上げたのです。

今、静かに平成の時代を顧みますと、いろいろな出来事が想い出されてなりません。

ある不動産業者は温泉旅館で芸者を上げ、一万円札でタバコに火を付けたとの噂話が、私に聞こえてきました。本当に信じられない時代でした。

同窓生の皆さんが、下館一高に通った筑西市(旧下館市)の町中も以前と比べますと大分様変わりしました。つい先日まで営業していたお店が、何時の間にか店終いをし、昔からあった電気屋さん、酒屋さん、魚屋さん、靴屋さん、そして洋服屋さん等の馴染みの店が商店街から次々と姿を

代は永くは続きませんでした。大蔵省が総量規制を実施し、借出し総額を制限したのです。この時期から、景気は低迷

し、世の中は不況期へと突入したのです。

私の仕事も年々減少し、将来が不安でなりません。新聞、テレビ等で会社の破産や会社更生等のニュースが数多く報道されました。

ところが、平成十八年、利息制限法の制限利息を超過する部分の過払金は返還請求できるとの最高裁判所の判決が言い渡されました。

判決後、消費者金融等に対する過払金返還請求事件が世間の関心を集め、弁護士、司法書士事務所の宣伝広告がテレビ、新聞等を賑わしました。

私の事務所も数多くの過払金返還請求事件を依頼され、事務所は活気を取り戻したのです。

しかし、忘れもしません。平成二十二年九月二十八日、株式会社武富士は会社更生手続きを裁判所に申し立てたのです。

私の事務所の顧客二十数名から依頼されました過払金約一千数百万円が、申立日の七日後に返還される予定でした。私は、依頼者にこの事態をどう説明するのか、私の頭は真っ白になりました。その後、消

費者金融がバタバタと倒産したのです。

そして、過払金返還請求事件が落ち着きますと、私の事務所は思いつけない方向に事業が転換しました。知的障害者の成年後見人と高齢者の任意後見人の業務が増えたのです。毎週、介護施設と高齢者宅を訪問しては、本人との面談を繰り返しました。

その中の一人に在宅介護のA子さんがいました。九十歳のA子さんは、夫を亡くし、子供もいませんでしたので、独り暮らしをしていました。食事はヘルパーさんが、洗濯等は友人が世話をしてくれましたので、日常の生活に困ることはありませんでした。ところが、ある時期から、A子さんは、さして用もないのに、私やヘルパーさん、そして友人を何度も呼び出します。

A子さんは、独りで居るのが淋しくて、堪えられないと私に涙を流すのでした。A子さんの呼び出しが頻繁となり、私達の仕事に支障を来すようになったので、私達三人でA子さんに介護施設への入所を勧めましたが、A子さんは自分独りで、これまで生活で

きたのだから、施設には入所しないと頑なに拒絶したのでした。A子さんは回りの人達の支援で生活をしてきたことが理解できないようでした。

それから約一ヶ月後のある日、私はA子さんにホテルに一泊するつもりで、施設に泊まるように説得し、何とか有めましたところ、A子さんはやっと介護施設に宿泊する決心をしたのです。A子さんは施設に入所後に車椅子の生活となりましたが、やはり夜の独り寝の寂しさを、私に切々と訴えるのでした。

私が開業した当時の業務は、殆どが不動産登記、商業登記を法務局に申請する手続きを行っていましたが、毎週、介護施設を駆け回る仕事に追われる等とは夢にも思っておりませんでした。平成三十年の歳月とともに、私の仕事は大きく変わったのです。

最後になりますが、同窓会は、西暦二千二十三年に開催されます下館第一高等学校創立百周年記念事業に向けて、準備を進めておりますので、同窓生会員及び関係者の皆様のご協力、ご支援を宜しくお願い申し上げます。

新たな時代を生き抜く力を

校長 川松 秀夫



紫西同窓会の皆様には、益々ご健にて、各界において多彩な活躍をなされていますことに、心からお慶び申し上げます。

また、日頃から本校の教育活動に對しまして、物心両面にわたりご支援ご協力を賜りまして、心より感謝を申し上げます。

私は、稲見前校長の後任として、四月に本校に着任いたしました。創立九十五年の伝統ある下館第一高等学校の歴

史の一部を担うことに誇りを感じるとともに、その責任の重さに身が引き締まる思いであります。

さて、本校では文武両道のモットーを掲げ、豊かな人間性を培い、自主自立の精神を涵養し「知・徳・体」のバランスのとれた心身の発達を促す教育を以前から行っております。学習に於いては、アクティブ・ラーニングの視点による「主体的・対話的で深い学び」の授業を、各教室に導

入した電子黒板を活用しながら実践しています。また部活には、八割以上の生徒が加入し、日々練習に励み、学校生活を充実した活気のあるものにしていきます。加えて、一年次から充実したキャリア教育を行い、生徒一人一人が将来への「適するべ」を早く持ち得るように丁寧な指導を行っています。

最近では、新たな時代を生徒が力強く生き抜いていけるよう「グローバル」な人材育成に力を注いでいます。「グローバル」とは「グローバル」と「ローカル」をかけた造語です。現代社会は、急速な国際化や情報化、AIやロボットの進展などにより、二十年後どころか十年後の社会も予測できない状況になっています。このような様々な事がめまぐるしく変化する社会を生き抜くためには、グローバルな視点を持つとともに、しっかりと地域や国内を見つめ、主体的に考え、独創的な発想も取り入れながら、多様な他者と協働し、課題を解決していくことができる「グローバル」な人間が必要とされているからです。

本校での「グローバル」な人間育成の例を一つ挙げますと、台湾との交流があります。昨年度、台湾のいくつかの高校や大学と姉妹校や提携関係を結びました。本年度は、それらの台湾の高校生と、テレビ電話による英語での自己紹介やお互いの文化の説明などの交流を行っております。更に、十二月中旬には、二学年生全員が修学旅行で台湾を訪れます。現地の高校の、授業に参加したり、台湾の高校生と一緒にグループ別市内研修を行ったりします。これらの体験によって、生徒の国際的視野や異文化理解が高まると同時に、日本の文化や常識を再認識し、結果として自己理解も深まってくるのではないかと考えております。更には、異国の人々との深い交流には、主体的なコミュニケーション力や協調性が必要になります。社会人として必要不可欠なこれらの能力を獲得できる一助になると期待しています。

さて、昨年度の進学状況ですが、東北大学・筑波大学・東京学芸大学をはじめとする国公立大学には、現役で九十三名、浪人を合わせると九十九名の合格者を出しました。また、慶応大学・東京理科大学・昭和大学医学部医学科などの難関大学を始めとする多くの私立大学にも合格し、卒業生全員が自己の進路実現を達成することができました。

今年度の部活動においては、運動部では、ライフル射撃部が、国体・インターハイ・関東大会に出場を果たしました。軟式野球部は県大会で優勝し、春の関東大会で三位入賞、剣道部も女子団体が、陸上部も走り幅跳びや八百メートル走で関東大会に出場しました。文化部においても、文芸部が全国短歌甲子園大会にて昨年度に引き続いて優勝し、大会史上初の二連覇を達成しました。放送部も全国大会へ昨年に引き続き出場しました。課外や模試等で活動の時間が限られている中、生徒の大部分が部活に加入し、自主的な活動によってこれだけの成果を上げているのは、本校生徒ならではの快挙と言えるでしょう。

しかし、これだけ教育活動が充実し、生徒も成長している本校ですが、今後を考えてみますと、樂觀はできません。ここの県西地区でも、中学生徒数の減少は続きます。加えて、水戸地区や私立の進学校への流出も続いております。本校が今後も、永続して発展するためにも、本校のブランド力である文武両道を継承しつつも、新たな時代をたくましく生き抜くために、時代を見据えた工夫・改善を図ることが肝要かと思います。

本校は五年後に、創立百年という大きな節目を迎えます。現在、実行委員会が設けられ、記念誌や式典に向けての準備が進められています。紫西同窓会の皆様には、今後ともご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

新任の先生よりメッセーじ

衆人監視の街

津田 雅教



るわけではありませんが…笑。

古河一高から転任しました津田雅教といいます。教科は地歴公民です。自宅が旧関城町にあるので、古河一高は遠かったですが、生徒と自分の生活圏が被ることはなく、土日の休みに生徒と出会うこともまずありませんでした。ですが下館一高は生活圏・買物圏とも被っているので、(別に、何か悪いことをするわけではないのですが)どこで見られているかわからないという緊張感が常にあります(こちらは館一の生徒かどうかわからないが、向こうは私が館一の教員だと知っているという生徒もたくさんいます)。別にやましいところがあ

街中で見かけても、できれば会釈だけ、声をかけるにしても「津田さん」をお願いします。「先生」と声をかけられた瞬間、周囲の視線が自分に集中するのは気はすかし、お店であれば買物しつづへ、言葉には出ないまでも店員さんの「あ、あの、先生だったの、この前なんものを買っていたわよねえ」という心の声が聞こえてくるので。「津田は匿名性の中で生きている」至極名言…。

下館一高に赴任して

谷中 藤雄
(第五十九回卒)



今年度の定期人事異動で下

館一高より赴任いたしました。

三十年余りの教員生活を経て、母校の教壇に上られることは感慨深いものがあります。館一で過ごした三年間があったからこそ教員としての今があるのだと思います。

当時の館一には、自由がありました。生徒を一人前の人間として、自由と責任を与え指導して下さった先生方。プライドをもって物事を考える友人たち。そんな中で、毎日充実した日々を過ごしていたように思います。

高校時代の過ごし方が、将来の進路に大きく影響していくこととします。生徒の皆さんは、いろいろなことに積極的に挑戦し、数多くの財産を身につけてもらいたい。「何かを起さないと何も起らない」何かに挑戦した人にしかわからないことがあると思います。日々、高い意識をもって生活することが、人間的な成長につながります。大きく成長していく後輩たちを全力で支援できる喜びを感じながら、教壇に立ちたいと思います。

下館一高に赴任して

中村 泰之
(第六十回卒)



私が下館一高に赴任して約

一年が経過しようとしています。昨年度、本校に赴任することが決まり、現在まで非常に充実した毎日を過ごしています。母校に戻ることでできた今思ふことは、当時と変わらぬ生徒たちの姿がありました。グラウンドや体育館での体育の授業に関心意欲を持って積極的に取り組んでいる姿は好感が持てました。放課後の部活動にも真剣な眼差しの子供たちの姿も嬉しく思いました。

下館一高の生徒諸君に望むことは、自分の研鑽に協力してくれる相手を尊重し、また指導してくれる先生、成長の場である学校に対し、さらには、自分を現在の環境に置く

ことができる全てのものに對しての感謝の気持ちを礼として現して欲しいと思っています。

その道によって礼のあり方に若干の違いはありますが、初めから終わりまで相手に對する敬意を失ってはいけなそうと思います。勝ち負けいずれにしても相手を尊重しなければなりません。勝者は敗者を思いやり、敗者は勝者を讃える事が大切だと思います。

人と会ったら挨拶する、何か教えを受けたら感謝する、集団の中ではお互いを思いやる、人として最低限必要な礼儀、心を重視した人間になつて欲しいと思います。これから共に頑張りましょう。よろしくお願い致します。

下館一高に赴任して

鈴木 康弘



下館はいつも私にとって特

別な街であった。片田舎に住む私は、幼い頃から、買い物も習い事も通院もすべて下館、という環境で育った。いつしか、この街が私にとっての「都会」となっていた。中学生になり、初めて友人と自転車に乗って買い物に来たときの昂揚感は今でも忘れない。少し大人になったような、なんだか悪いことをしているかのようなえもいわれぬ心持ちであった。

ではなぜ一高OBの末席を汚さなかったのかと問われると、紙幅の都合上ここでは説明しきれない。だが、その後本物の都会(失礼しました)での生活を経験した後、下館は第二の故郷とでもいっていい特別な街であり続けた。

だから、下館一高への転勤を命じられたときは、中学生のあのときのように昂揚した。そして今、素直で活気に溢れる一高生を前に、その昂揚感はこちらに増している。下館も一高も、自分にとってより特別な場所になっていきたい。そうできるよう、一高と一高生のために尽力したい。

下館一高に赴任して

安田 智美



この四月から伝統ある下館一高で教壇に立つことになりました。

私が学生だった頃から「東西の雄」と言われる下館一高はどこかいつも意識していた学校でした。学生時代にお世話になった素晴らしい先生方のなかには卒業生の方もたくさんいました。私がそんな優秀な生徒が集まる下館一高で教えることになるとは信じられないと思います。

生徒たちには、欲張りなくらいに勉強をはじめとする様々なことに挑戦してほしいと願っています。人生において最も多感であるこの時期に貪欲に、無駄と考えることにも挑戦することで人間としての幅が広がると思うのです。明日の茨城を支える人材を育てるためにも、文武両道の精神で生徒たちが充実した高校生活を送

れるよう、手助けしていきたいと思っています。諸先生方や保護者・同窓会の皆さまのお力をお借りして、私自身も成長できるよう、努力していく所存です。よろしくお願いたします。

下館一高に赴任して

横山 貴史



本年度より下館第一高等学校に赴任してまいりました。教員としてまだまだ未熟ではありますが、日々精進してまいりますので、どうぞよろしくお願致します。

勉強はもちろん、部活動にも精力的な下館一校生。多くの生徒が文武両道を目標に一日一日を無駄にすることなく過ごしており、大変感銘を受けております。

一度きりの人生。その人生において高校生の期間はほんのわずかですが、人として大きく成長できる期間でもあります。色んなことに挑戦し、

たくさん失敗も経験して下さい。失敗の数だけ成長できるはずです。成功だらけの人生は、一度の失敗で簡単に崩れてしまつてしまう。

『努力は裏切らない』とよく言いますが、努力をしたからといって必ず成功するとは限りません。ですが、『成功する人は必ず努力する』のです。ですので、どんなことがあっても諦めず努力し続けて下さい。

「諦めたらそこで試合終了ですよ。」

下館一高に赴任して

渡邊 拓也



今年の春に本校に赴任することが決まり、それまで下館という場所に恥ずかしながら土地勘がなかったため、ホームページで学校概要を調べたことを思い出します。その時に、朝課外授業、AC制、学習合宿、プリティッシュヒルズ語学合宿、台湾修学旅行な

ど、今自分が見ているホームページは、私立高校のホームページなのでは、と勘違いするほど様々な取り組みがなされていることを知り、驚きとともにそれらの活動とともにできることへの喜びをもち、赴任の日を迎えました。本校の生徒たちは80%強の生徒たちが部活動に加入し、課外授業など勉強にも前向きに学習している生徒が多く、私自身も刺激を受けている毎日です。私は、自分の学生時代、世界史という科目を習い、初めて、勉強が面白いと感じ、暇さえあれば資料集などを見ていました。私が学生時代に感じたことと同じように、学ぶ楽しさなどを伝えていきたいと考えております。今後ともよろしくお願いたします。

下館一高に赴任して

松山 修



中学生の頃、下館一高は父の母校でもあり憧れの高校の

ひとつでした。色々な事情で他の高校に進学しましたが、高校時代に一度だけ、模擬試験の受験で本校を訪れたことがあります。『監視庁』といわれた本校舎は木造で、階段は大量擦り減っていました。歴史を感じさせる風格のある佇まいでした。

還暦を迎えて昨年四月に、教員として初めて赴任しました。この年になると自分の人生を振り返ることしきりです。自分の高校時代から四十六年も過ぎていた訳ですが、高校生が抱く将来に対する期待と不安は、昔も今も変わらないと思います。これからAI等の進歩により大きく変化する仕事は沢山あるといわれています。しかし、今から思えば、昔は「先が見えている」と誤解していただけでした。日本の経済も社会も想像できない位変化してきました。本校生が将来のために、これから何を学んだらいいのか、授業などを通して一緒に考えていきたいら、そして、これからの人生を築く手助けができればいいなと思います。

下館一高に赴任して

萩原 晃



新任？として下館一高にお世話になるのは二回目である。一回目は平成二十六年三月に退職するまでの十四年間、今回は四年おいての二回目である。

私が初めて下館一高に訪ったのは昭和五十年代前半、校門を入ると趣のある旧校舎が残っていた時である。それは卓球部の練習試合や下館OB杯の引率、ときには講習会などでお邪魔した。

当時、記憶に残っているのは館一卓球部のM君。彼はラケットがシェークハンドのドライブ攻撃型の選手でしゃがみ込みサービスからの三球目のドライブの威力はすごい。今でも脳裏に焼き付いている。しかし、M君が記憶に残ったのはこれではなく。新採の学校で担任したクラスにM君の妹がいたからである。妹も運

動能力が高くクラスマッチでは「短距離の女王」と呼ばれ活躍した。実は担任したクラスには「長距離の女王」もいてクラスマッチは余裕で優勝したのである。生徒達と経験したことは自分のことのように感動できたからである。

下館一高では部活動や進学指導に生徒と一緒に喜びあるときは苦しむ先生方と働きそれを共有出来るのは再任用として一年限りのなで一日一日を大切にしていきたい。

下館一高に赴任して

北川 健一



徒たちは担当している場所を手際よく清掃している姿をよく見かけます。

下館一高の生徒たちを見ると、元氣よくあいさつをする生徒が多いと感じます。廊下等で会ったときに「こんにちはー」とあいさつをしてくれると、こちらも気分が良くなります。

私は事務室で仕事をしているため、普段生徒たちと接する機会はないのですが、生徒たちが下館一高で充実した学校生活を送れるように、事務職員として力になりたいと思っています。今後ともよろしくお願いいたします。

下館一高に赴任して

栗原 直美



この度縁がありまして二十九年十一月より勤めさせていただきます。よろしくお願いいたします事務職員の栗原と申します。

高校一年生と中学三年生の娘がいる私は、どうしても生



徒の皆さんに目が向いてしまっています。制服もきれいに着こなし、礼儀正しいとても感じの良い生徒さんばかりで、お昼休みなど、わいわいがやがや楽しそうにしている姿を見ると微笑ましく、いつも元氣をもらっています。

みなさんはこれから自分次第で様々な素敵な未来が開けます。高校生活、楽しいことはもちろん、沢山悩んでしまうこともあると思います。それもひとつの経験と割り切つて、とりあえず息抜きをして、決して腐らず、素直に、誠実に過ごしてほしいな・・・と親目線です。

この伝統ある下館一高で、少しでも皆様のお役に立てる事が出来るよう日々努力して参りますのでどうぞよろしくをお願いいたします。

進路指導の現状

進路指導部長 日向 久

【平成三十年度入試概況（平成三十年三月卒業生）】

三十年度の志願者数は前年並みの68万人程度でした。18歳人口は前年から2万人程度減少しましたが、現役志願率は上昇を続けており、現役大学志願者数は前年並みであったと予測されます。また、前年の私立大入試が厳しかった影響から、既卒性は増加しました。

例年、その年の志願動向に大きな影響を及ぼすセンター試験の平均点ですが、前年から大きな変化はありませんでした。7科目文系型（900点満点）では552点（前年差マイナス3点）とわずかにダウンしました。地歴Bの全科目で平均点が上昇しましたが、「英語リスニング」や「国語」で平均点が上昇したことから、大きな変化にはつながりませんでした。一方7科目理系型（900点満点）では560点（前年差プラス1点）となりました。こちらも多

くの理系生が選択する「化学」や「地理B」の平均点アップが、「英語」「国語」の平均ダウンを補った形となりました。

国公立大では、前年に続き、学部学科の再編の動きが活発に見られました。「知識技能」だけでなく、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」も含めた高大接続改革が進む中、多面的評価を実施するため、一般入試でも志望理由書の提出や小論文・面接を課すといった動きや、一般入試の募集定員を推薦・AO入試へシフトさせるといった大学が目立ちました。英語外部試験の活用拡大といった動きもありました。

私立大では、都市部の大規模大を中心に、国の定員超過抑制強化策の影響によって、合格者を減らして入学者を抑えようという動きが続きました。そのため、私立大では、三十年度も厳しい入試となりました。また、前年より合格

者数を減らして、補欠合格者からの入学許可や追加合格で入学者数を調整するという現象もありました。このため、三月下旬になっても追加合格が出るといった大学が例年より目立ちました。

【本校生（平成三十年三月卒業生）の状況】

指定校推薦では、慶應義塾大学や明治大学、中央大学など十三名が合格しました。国公立大学については、推薦入試では東北大学、筑波大学、茨城大学、宇都宮大学など十六名、一般入試では前期で六三名、中期・独立日程で四名、後期で十名、合計で九三名が合格しました。また、千葉大学や東京学芸大学にも前期試験で合格者が出ました。私立大学については、慶應大学二名、東京理科大学二名、MARCHが十七名、日東駒専八六名、合計で四七二名が合格しました。（今年度卒業生の進路状況については、三学年概況の欄を御覧ください。）

合格者の傾向としては、1年時から、高校での学習方法を見つめるために試行錯誤を繰り返し、自学自習の習慣を

身につけることが上げられます。中学時代に比べて学習内容が飛躍的に増えるのですから、言われるがまま、課題をやりこなすだけでは、真の学力は身につけません。常に、自分の学習内容や学習方法を振り返りながら、「予習 ↓ 授業 ↓ 復習」の黄金律を習慣として確立するか否かにかかっています。また、自分の将来を真剣に考え、自ら進路（志望大学）を決めることも大切です。親や先輩、先生方にアドバイスを求めることもあるでしょうが、自分の進路は自分で決めなければなりません。その第1志望を最後まで貫き通した生徒が、合格を勝ち取っています。

【今後の展望】

2021年度入試（現高一を対象に）に向けて、大学入試が大きく変わりつつあります。そこで、①英語資格試験活用、②主体性評価、③共通テストの3つの観点から今後の大学入試を占てみたいと思います。

英語資格試験が活用されます（2024年度までは、2技能の共通テストも併用）。各大学の個別試験においても、英検やGTECといった英語資格試験の成績（スコア）の活用が広がっています。2021年度入試（現高一を対象）では、各国公立大の活用方法が公表されつつあります。

（1）出願要件として活用（東京・東京外語・名古屋他）、
（2）得点換算して活用（福島・茨城県立医療・群馬他）、
（3）出願要件及び得点換算して活用（東京工業・長崎他）

となっており、それ以外、例えば東北大は、出願基準にどうも、出願資格や合否判定には活用しないことを公表しました。東大を始めとして出願資格として求めているのは、CEFRのA2レベル（英検準2級程度）なので、まずはそのクリアが目標となります。決して高い目標ではありません。

② 主体性評価

主体性評価は、現行の調査書等を改善し、「主体性を持つて多様な人々と協働して学ぶ態度」を多面的・総合的に評価するため、一人一人が積み

上げてきた大学入学前の学習や多様な活動（部活動・ボランティア活動・留学・海外経験等）取得・資格等 表彰・顕彰等の記録）に関する評価を、更に充実させることを目標にしています。その記述の基になるのが、本校の現高一生が既に着手しているポートフォリオです。3年間の高校生活の過程を、具体的かつ正確に記録しておくことが求められます。2021年度入試では、例えば、筑波大の一般前期で新規実施される「総合選抜」において、調査書の点数化を導入する（2450点中500点）等の具体的な動きも始めています。

③ 共通テスト

昨年十一月十一日に、全国約8万4000人の高校生が参加して、共通テスト第2回試行調査（プレテスト）が実施されました。本校でも、筑波大にて、3年生40名が参加しました。昨年と今年2回の試行テストを通して浮かび上がってきた特徴をいくつか上げてみます。（1）国語の記述式問題は、字数制限も含めた条件付記述（本文中から該当箇所を的確に引用

する力が求められるという意味）であり数学Iの記述式問題は、解答を数式や文章で表すだけで、証明問題や論証問題は出題されません。（2）知識を日常生活や社会でどう活用するか、という力が求められます。（3）難易度は、平均得点率（平均正答率）5割程度に設定されています。※現行のセンター試験は6割程度に設定。（4）英語のリーディング、リスニングが各100点という配点が明らかにされました。共通テストは今後、2回のプレテストの結果を総括した後、2019年度中に確認プレテストを実施し、2020年度に本番が実施されます。

以上、現在進行中の大学入試改革を受けて、本校でも3年前から「主体的・対話的で深い学び」を目指した授業改善、電子黒板導入等による学習環境の整備、来年度から新2年生を対象とした「総合的探究の時間」の先行実施等に取り組んでいます。下館一高の新しい教育改革の試みが今後どう変わっていくのか、温かい目で見守って頂きたいと思えます。

各学年の現状

一学年概況

一学年主任 薄井裕美

「素直で何事にも真面目に取り組み好感が持てるが、少し積極性に欠ける」一年生の総合的な印象は、このようなところでしょうか。

朝八時二十五分には、ほぼ全員が着席して読書が始めるのも当たり前になってきました。放課後に我先にと部活動に向かう姿も、今では見慣れた光景です。高校生活を、苦しいことも含めて満喫している生徒がたくさんいることは、とても素晴らしいことです。

一方で、私は少し物足りなさも感じています。目の前にチャンスがあったらとりあえずやってみる、こうした姿勢は成長するためには不可欠なものです。実践している生徒が少ないように思っています。九月に実施した紫西ブレカレッジでは、大学の先生方をお招きして模擬授業を体験しました。終了後、先生方からは授業に臨む姿勢が非常に良かったという褒めの言葉とともに、質問がほとんどなかった

ことに対する心配の声もいただきました。

社会の変化に伴ってその中で必要とされる力も変化し、大学入試も変わりつつある。高校で身につけるべき学力も変化しています。従来の知識や技能に加えて、思考力や判断力、表現力がより重視されるようになり、学ぶ姿勢としての主体性も求められるのです。

一学年では、様々な機会を利用して生徒一人一人の主体的な行動を引き出す努力をしています。前述の朝の読書もその一環であり、教員が指示しなくても取り組めるようにすることが次の目標です。新聞スクラップは、各自が興味・関心に基づいた記事を選択して意見文を書き、次の生徒へとリレーしていきます。書く経験を積むことによって表現力を育み、リレー形式にすることによって自分では選ばない記事に出会い、他人の意見を知ることを目指しています。学年行事も、ブリティッシュヒルズ研修に始まり、前述の紫西ブレカレッジ、企業訪問、芸術鑑賞会を経て、二月には合唱コンクールが控えています。

す。一年間の総決算として、各クラスが美しいハーモニーを聞かせてくれることと期待しています。

生徒一人一人は大きな可能性を秘めています。その可能性を確かな力にするために、これからも学年一丸となって努めていきたいと考えています。

二学年概況

二学年主任 四家 明彦

二学年では四月から計画的に進路指導を行ってきました。特に年に二度の三者面談では、生徒に自分の考えを発表してもらうプレゼンテーションを取り入れてきました。

六月には学部学科を研究して、第一志望大学を宣言してもらいました。保護者や先生達の前で宣言するのは、大変だったようですが、自分は何が学びたいのか、そしてどの大学に行きたいのかを真剣に考える良い機会になったようです。

紫西会報

十二月の三者面談では第一志望校に向けた学習状況と入試験科目や配点を調べ発表してもらいました。大

学によって、入試科目や配点は様々なので、少なくとも現在希望の大学については知っておいてもらいたい、そしてそれに向けて準備を始めてもらうために実施しました。これらは普段から担任が言っていることではあるのですが、いざ発表の準備をしてみると知らなかったことがでてくるようで、本格的な受験を迎える来年度に向けて良い刺激となったようです。

そして、その三者面談の後すぐに、修学旅行に立ちました。思えば、入学当初はグアムに行く予定だった行き先も台湾に変更し、交流先も学校で開拓して臨みました。

事前のビデオ会話など、準備には手を尽したのですが、はじめてで至らない点もあり、天候にも恵まれずかなりのハードスケジュールとなりました。

ただ「楽しい」そんな修学旅行ではなかったですが、多くの生徒がこの交流をきっかけとして海外や台湾に興味を持ち、何より海外に同年代の友達ができたとです。

来年度は最上級生として、下館一高の伝統を守っていく立場となります。平成最後の

三年生、そして新元号最初の三年生となります。

来年度は七曜祭もあります。新しい歴史を作っていけるように、「生徒と共に成長」しつつ、教員一同邁進していきたいと思います。

三学年概況

三学年主任 海老澤 淳子

大学入試センター試験まで約一月となりました。時間が過ぎればいずれも今は違つ次の世界に旅立っていきます。生徒の様子を見てみると、目標に向かってまっすぐに努力している人、具体的にイメージしているわけではないけれど、とにかく大学進学を目指して一生懸命勉強している人、そして未だに迷いの中にいる人もいます。

今年度を振り返りますと、受験生なので楽しめる学校行事が少ないですが、クラスマッチでは大活躍でした。全校21クラス中で1位と2位だっただけでなく、全クラスが10位以内という結果でした。これは、稀なことだと思います。

競技では声を掛け合ったり、戦略を話し合ったりする姿が見られ、チームワークの良さが

を感じました。応援の生徒達も各競技場での自分のクラスの試合時間をチェックしながら、声を上げて応援し、勝利を喜んでいました。

受験は孤独な戦いですが、最後まで諦めずに勉強する気持ちを持ち続けるには、同じように努力している仲間が存在は大きな力となるでしょう。現在までの進路状況は以下の通りです。残りの生徒達も希望の進路に進めるよう、最後まで見守ってくださいますようお願いいたします。

進路状況

国公立 (8名)

- 筑波大学
- 茨城大学
- 茨城県立医療大学
- 山形大学

- 東京学芸大学
- 首都大東京

私立大 (33名)

- 高崎経済大学
- 東京家政大学
- 四国学院大学
- 順天堂大学
- 明治薬科大学
- 獨協医科大学
- 東京女子大学

- 文教大学 2名

- 東洋大学 1名

- 白鷗大学 3名

- 東京工科大学 1名

- 工学院大学 1名

- 昭和女子大学 1名

- 自治医科大学 1名

- 東京理科大学 1名

- 法政大学 1名

- 慶應義塾大学 1名

- 共立大学 1名

- 明治学院大学 2名

- 津田塾大学 1名

- 中央大学 1名

- 立教大学 1名

- 獨協大学 2名

- 成蹊大学 1名

- 明治大学 1名

- 国際医療福祉大学 1名

- 私立短期大学 (1名)

- 常磐短期大学 1名

- 専門学校 (6名)

- つくば栄養医療調理製菓専門学校

- 門学校

- ・アミューズメントメディア総合学院

- ・茨城理容美容専門学校

- ・日本外国語専門学校

- ・茨城県立中央看護専門学校

- ・大原簿記情報公務員専門学校

- ・校水戸校

- 就職 (1名)

- ・茨城県警察



八時間耐久



カナダ交流



館力祭



館力祭

5 年 間 入 試 結 果

(年度は入試年度です。)

(主な国立大学)

大 学 名	30 年 度	29 年 度	28 年 度	27 年 度	26 年 度
東 北	1	1	1	1	1
山 形	2	5	3	5	5
福 島	2	3	5	8	8
茨 城	26	20	16	24	23
筑 波	5	3	5	5	8
宇 都 宮	12	17	12	8	10
群 馬	2	5	1	8	5
埼 玉	5	6	6	5	9
千 葉	2	0	1	0	3
東 京	0	0	0	0	0
一 橋	0	0	1	0	0
東 京 工 業	0	0	1	0	0
東 京 外 語	0	0	0	0	1
横 浜 国 立	0	1	0	1	1
そ の 他	10	5	12	14	7
国 立 大 計	67	66	64	79	81

(主な私立大学)

大 学 名	30 年 度	29 年 度	28 年 度	27 年 度	26 年 度
国際医療福祉	15	10	7	4	12
獨 協	12	15	16	10	8
文 教	25	13	14	11	21
青 山 学 院	0	0	3	1	3
大 妻 女 子	9	7	5	22	2
北 里	2	1	2	3	4
慶 應	2	1	5	1	1
国際基督教	0	0	0	0	1
駒 沢	16	8	18	8	13
芝 浦 工 業	4	12	10	3	9
上 智	0	0	0	1	0
専 修	3	7	11	6	13
中 央	5	5	8	21	7
津 田 塾	0	1	1	5	1
東 京 女 子	5	3	0	18	4
東 京 薬 科	0	0	0	1	0
東 京 理 科	1	4	6	4	5
東 洋	49	57	48	17	30
日 本	14	30	22	27	27
日 本 女 子	0	0	0	10	2
法 政	6	13	12	2	6
東 京 都 市	1	4	2	4	5
明 治	4	2	11	4	3
明 治 学 院	3	7	10	11	11
立 教	1	5	6	1	1
早 稲 田	0	1	3	5	0
そ の 他	328		363	364	347
私 立 大 計	505		583	564	536

(主な公立大学)

大 学 名	30 年 度	29 年 度	28 年 度	27 年 度	26 年 度
高 崎 経 済	11	10	6	16	13
県 立 医 療	1	2	3	2	0
首都大東京	0	1	1	0	0
横 浜 市 立	0	1	1	2	0
そ の 他	14	22	26	56	21
公 立 大 計	26	36	37	76	34

進 路 決 定 先 人 数

年 度	国公立大	私 立 大	短期大学	専門学校	就 職	未定・他	卒業者数
30	83	152	1	6	1	29	272
29	82	162	2	8	5	16	275
28	87	156	4	5	1	18	271
27	102	138	0	7	2	18	267
26	104	147	2	9	2	12	276
25	93	149	0	4	3	25	275

2019年度大学入試センター試験平均点

科 目	英 語	リスニング	国 語	数学ⅠA	数学ⅡB	世界史B	日本史B	地 理 B	現代社会
本 校 平 均	133.4	33.5	126.1	56.9	45.3	77.2	63.6	64.3	58.7
全 国 平 均	125.5	31.9	117.8	61.6	56.3	67.5	65.5	64.1	58.2

科 目	倫理政経	物理	化学	生物	生物基礎	地学基礎
本 校 平 均	67.6	54.8	49.6	65.8	32	27.8
全 国 平 均	64.5	57.6	55.9	64.2	32.6	31.3

※ 全国平均は
中間発表のものです。

同窓生寄稿

＝在校生へ＝

「将来の夢について」

黒澤 菜海

(第九十回卒)

みなさんには「将来の夢」がありますか？下館一高のほとんどのみなさんは大学進学に向けて日々勉強をしていると思います。その中で、進路について考えるとき、必ず「将来何がしたいのか」という話が出てきます。すぐに答えられる人もいれば、将来の事が見えなくて、悩んでいる人もいるでしょう。私の場合は前者でした。ここから少し私の話をしようと思います。

紫西会報

高校生当時の私の夢は、小学生の頃からずっと魚が好きでしたので、魚に関わることでできる仕事、水族館の飼育員になることでした。そのため、高校卒業後は、海洋生物について学ぶことのできる大学に進学しようと決めています。目標が決まれば、後はやるだけなのですが、私はほとんど学校の勉強をしませんでした。出された課題と、テスト前に少し勉強しただけなので、成績は下から数えた方が早かったです。ただ、魚については一生懸命で本を読んだり、図鑑を見たり、水族館に行つて生態を観察したりしていましたので、「魚の名前は覚えられない」という現象がよく起こりました。しかし、いくら魚に詳しくなっても学校の成績はよくなりませんでした。そして、大学受験のとき、勉強が出来なかったのが当たり前ですが、第一志望の大学には受からず、別の大学で海洋生物について学ぶことになりました。

高校時代、大いに失敗した私は、二度と同じことを繰り返さないとい心に決め、大学では勉強しました。自分の好きな事を思う存分勉強していくうちに、もっと研究したい、学びたいと思うようになり、大学院へ進学しました。そして現在は、大学院生をしながら大学の助手として、海洋生物の研究を行っています。

最終的に私は自分の夢を叶

えることが出来たと思います。ただ、今思い返すと、夢を叶えたというより、私は魚について知りたいと思い続けていただけなので、好きな事を続けていたら、いつの間にか肩書きがついていたという方がしっくりきます。私がこの話で伝えたいことは、夢を叶えるために頑張るのではなく、夢を叶えた後に何をしたいかを考えてほしいということだと思います。また、将来の夢が決まっていなくても、高校、大学を卒業して、どんなことをしたいか考えることで、ぼんやりとした枠が見えてくると思います。これからたくさん悩む事や大変な事があると思いますが、みなさんの将来が輝かしいものにならうに願っています。

「大学を選ぶということ」

吉川 吉美

(第九十二回卒)

この原稿依頼を受けて、過去の紫西会報を読み返しました。ちょうど今の時期は指定校推薦の結果が発表されるタイミングなので、合格さ

れた方々、おめでとつございます。一般入試の方はこれから追い込みをかけるかと思えます。ほとんどの人にとってはこの時期が人生で一番勉強する期間になるでしょう。辛いいとは思いますが、最後まで踏ん張ってください。

私の話をすると、館一では女子バスケット部のマネージャーをしていました。バスケットボールは未経験でしたが非常に楽しかったし、部活動をしている皆さんは引退までしっかり取り組むべきだと思います。1年生の終わりにはカナダの交換留学の機会をいただき、話す英語の難しさを体感しました。報告会やカナダの方に向けた英文原稿を柴山先生に提出すると、真っ赤になって返ってきたことを思い出します。大学受験の際は、二次試験の数学を放課後に一対一で指導していただいたり様々な課題の内容を変更していただいたり、非常に融通を利かせていただきました。放課後、友達と購買のカップラーメンを分け合い、完成した答案を職員室へ持っていくあの時間が、かけがえのないものだったと気がきました。

と思います。皆さんがそれぞれの場所で輝けることを祈っています。

私は現在一橋大学経済学部三年生です。実験経済学のゼミに所属し、今年はミクロ経済学やゲーム理論を学びました。経済学者が一生をかけた探りで導いた理論にいくつも触れられる点に、経済学を学ぶ意義があると感じます。大学は何を学んでも自出です。勉学、起業、クラブ活動、様々な選択肢が常に存在しています。その代わり、責任は自分だけのものです。どうか大学に入学する皆さんには、自分の意志を持ってほしいと思います。大学の選択においても、学費の出資者は皆さんのご両親ですが、通うのは皆さん自身です。学校や塾の先生も皆さんのことを思っているような選択肢を提示してくれませんが、どの意見を受け入れるのが自分で考えてください。感謝の気持ちには忘れずに、しかし多少わがままと言われても、自分が納得する道を選んでほしいと思います。また、何かに向かって全力で取り組んだ経験は、結果がどうであれ自分の糧になります。失敗を恐れずに努力し、何年後かの自分が今の自分を誇らしく思えるような行動をとってほしい



文芸部短歌甲子園二連覇達成!!

西 地下へゆくエレベーターの

電光に包まれるとき

紫 孤独に気づく

先鋒 林 里美

冷蔵庫の上は荒野の光景だ
大人になるとは

中堅 袖山空大

嘘を知ること

すれ違う肩それぞれが持っている
朝の光が眩しくて

大将 大幡浅黄

夏

《自選の短歌》

君の目がまたたくときの色に似て

光の満ちた

回転扉

準々決勝 林 里美

○回転扉の何枚も連なったガラスに光が入っていき、それらが屈折してきらめいて見える、という情景を「君」と言うまぶしい存在と結びつけてみました。(林)

コーラにもカレー粉にもある

香料のようで

私に必要な君

準決勝 袖山空大

○食べ物にとって一番大切なものは味ですが、香りが無ければ、味は引き立ちません。在なのです。(袖山)

○上の句の「コーラ」に「カレー粉」という取り合わせが面白いです。さらに、最後に「君」ます。(松本)

草冠が化けて花と書くのです

そろそろ君を

名前で呼ぼう

個人戦 松本聖大

○草冠だけではただの草だけれど、化けることで花という目を引く漢字になります。そのように、名前で呼ぶという小さな変化で君を引き付けたという短歌です。(松本)

線香花火ぼとりと落ちて

青春と言いつけるだけの夏が足りない

準決勝 大幡浅黄

○十七歳は「青春」という言葉で形容されますが、私の目々は青春と言いつけるほどにはキラキラしておらず、時々不安になります。等身大の「青春」を表現した歌です。(大幡)

出場選手

インタビュー

Q二度目の優勝が決定した瞬間の心境はどうでしたか?

松本 ホツとしました。いつも三人が頑張っているのを見守っていたので、それが報われたようで嬉しく思いました。大幡 最初からこの三人が一

Q去年と比べて今年の短歌甲子園はどう違いましたか?

大幡 去年は歌人としての自分に自信を持っていました。

しかし今年は初戦で負けてから、吹っ切れてありのままの自分を詠んでみました。歌人ではなく、大幡浅黄として成長したと思います。

袖山 昨年は周りを意識しすぎてかえって自分らしい短歌が詠めませんでした。だから今年は、勝敗を気にせずに詠むことを目指しました。結果、ありのままの自分を短歌の調べにのせて表現できました。

林 去年はただがむしやうに詠むだけでしたが、今年は一年間の経験があったので、「自分の」歌を詠むことができました。その自分らしさとは何かと悩むことも増えました。

Qこの一年で短歌に対する姿勢はどう変わりましたか?

林 日常の中にも、自分が成長すればその分新たな発見があります。それをどう綺麗に仕上げていくか吟味することを楽しめるようになりました。

大幡 いい意味で頑張らなくなりました。去年は短歌を詠もつとして詠んでいましたが、

今は自分を偽らずに、息を吐くように短歌を詠むようになりました。

松本 最近では、皆を追いつかしてやるという気概を持って短歌を詠んでいます。

顧問・薄井裕美先生

Q去年と今年で部の雰囲気はどう違いますか?

去年は良くも悪くもフレッシュな雰囲気でした。今年は部員も増え、様々な感性を基に自由に話し合えるようになったと思います。

Q部をまとめる上で、意識なさっている事がありますか?

まごめないということ。自由であること、その中で何を表現しても良いということが大切だと思います。

これからも応援よろしくお願ひします。



学 校 生 活

ブリティッシュヒルズ



進路講演会



大学見学会



館力祭 (体育祭)



野球応援



東北大OC



A C 合宿



クラスマッチ



企業訪問



修学旅行



合唱コンクール



卒業式



部活動報告

文芸部

☆全国高校生短歌大会 短歌甲子園

優勝(二連覇)

林 里美(下館中) 大幡 浅黄(真岡中)
袖山 空大(友部中)

ライフル部

☆全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会

【エアライフル立射40発競技】

(個人団体出場) 大山亜里紗(桜川中)
(個人団体出場) 池田 杏奈(大和中)
(個人団体出場) 富田 彩美(桜川中)
【エアライフル立射60発競技】

(個人団体出場) 古市 颯太(下館南中)
(団体出場) 松山 佳裕(桜川中)
(団体出場) 吉田 一貴(下館南中)

陸上部

☆全国高等学校陸上競技選抜大会

中山 健介(友部中)

関東大会出場

軟式野球部

☆春季関東地区高等学校軟式野球大会

第三位

陸上部

☆関東高等学校陸上競技大会

宮田 祐大(結城東中) 中山 健介(友部中)

☆関東高陸上競技選手権

中山 健介(友部中)

ライフル部

☆関東高等学校ライフル射撃競技大会

【エアライフル立射40発競技】

(個人団体出場) 池田 杏奈(大和中)

大山亜里紗(桜川中) 富田 彩美(桜川中)

【エアライフル立射60発競技】

(個人団体出場) 古市 颯太(下館南中)

松山佳裕(桜川中) 吉田一貴(下館南中)

【ビームピストル競技60発】

(個人出場) 安達大晟(岩瀬東中)

☆関東高等学校ライフル射撃競技選抜大会

富田彩美(桜川中) 斎藤聖(関城中)
松本朋美(下館南中)

剣道部

☆関東高等学校剣道大会

春季関東地区高等学校軟式野球大会

軟式野球部

第六六回春季関東地区高等学校軟式野球大会茨城県予選会で四十一年ぶりの優勝を収めた本校軟式野球部は、第六六回春季関東地区高等学校軟式野球大会に出場した。1回戦、東京都の小石川中等教育学校に5対2。2回戦、栃木県の作新学院に4対2。準決勝は神奈川県立の栄光学園に敗れ第三位の成績を収めた。

第65回
関東高等学校剣道大会
平成10年
平成10年
平成10年



部活動紹介

硬式野球部

- 1 チーム一丸となり県大会を勝ち抜いて、春の関東大会に出場すること
- 2 三二名
- 3 グラウンド
- 4 月曜日以外の平日、休日

軟式野球部

- 1 県大会優勝を目標に日々練習に取り組んでいます。
- 2 部員七名
- 3 マネージャー二名
- 4 下館一高グラウンド

男子バスケットボール部

- 1 県西大会優勝、県大会ベスト八を目指し、日々精進しています。
- 2 選手一九名
- 3 マネージャー二名
- 4 基本木曜以外

女子バスケットボール部

- 1 県西地区ベスト三、県大会出場を目標に日々練習に取り組んでいます。
- 2 プレーヤー 一五名
- 3 マネージャー 二名
- 4 木曜日以外

1 目標
2 人数
3 場所
4 活動日



サッカー部

- 1 県大会出場を目標に日々練習に取り組んでいます。
- 2 選手 五九名
- 3 マネージャー 五名
- 4 グラウンド
- 5 基本月・木以外

バドミントン部

- 1 地区大会優勝、県大会ベスト八
- 2 男子二九名 女子一九名
- 3 体育館
- 4 月・水・木・金・土・日

弓道部

- 1 文武両道 関東大会出場
- 2 二六名
- 3 弓道場
- 4 月曜日・土曜日

空手部

- 1 「克己」をモットーに、関東大会出場を目指しています。
- 2 一名
- 3 結城市の道場
- 4 毎週土、日曜日



剣道部

- 1 私達は、関東大会出場を目標に日々強くなっているよう、稽古に励んでいます。
- 2 男子三名 女子五名
- 3 格技場
- 4 平日月・金 午後六時半まで、土日祝祭日練習

硬式テニス部

- 1 私達の目標は騎士道精神を貫き、紳士のスポーツであるテニスの神髄を味わう事です。
- 2 男子一三名 女子九名
- 3 成田橋下の河川敷、県西公園
- 4 月・金曜日以外基本あり

ライフル射撃部

- 1 日々の積み重ねをモットーに、夏の全国大会上位入賞を目指しています。
- 2 二二名
- 3 旧定時制給食室 茨城県営ライフル射撃場
- 4 月曜以外放課後六時まで

陸上部

- 1 選手一人一人が向上心を持ち意識を高く持って練習に励んでいます。
- 2 二七名
- 3 ハンドボールコートの横
- 4 日曜日以外



報 ダンス部

- コンテストでグランプリ優勝、積極的にイベントに参加、楽しく活動すること。

- 二五名
- プール 紫西会館
- 毎週火・水・金 イベン
- トコンテスト前に土日練

柔道部

- 団体戦関東大会出場 個人戦県大会入賞
- 二年生五名 一年生三名
- 格技場二階
- 月曜日から土曜日

男子バレーボール部

- 県西地区大会優勝、県大会ベスト八を目標に日々の練習に励んでいます。
- 選手八名
- マネージャー二名
- 体育館

女子バレーボール部

- 県西地区大会優勝、県大会ベスト八を目標に日々練習に励んでいます。
- 選手一三名
- マネージャー一名
- 体育館（月曜日はグラウンド）
- 水曜日以外



男子ソフトテニス部

- 個人では全員二回戦突破を、団体では県西大会優勝を目標に、工夫して練習している。

- 二二名
- プールの隣、校舎東側のテニスコート
- 夏季 毎日 冬季月曜以外は休み（雨の日は休み）

女子ソフトテニス部

- 全員が高い意識で練習に励み、県団体ベスト八を目指しています。
- 六名
- 下館一高テニスコート
- 基本雨の日以外

水泳部

- 夏の大会で全員がベストタイムを更新すること。
- 四名
- 各スイミングスクール
- 月、火、水、金、土

登山部

- 夏休みに三千メートル級の山に登る。
- 一年生一名 二年生八名
- 土曜日または日曜日に月一〜三回程度登山



卓球部

- 団体戦県大会ベスト八を目標に、さらに良い結果を残せるように練習している。

- 一九名
- 旧定時制給食室
- 火曜日〜日曜日

ハンドボール部

- 全員が初心者からのスタートです。先輩たちの記録を越すために練習に励んでいます。
- 八名
- ハンドボールコート
- 日休み 月・水自主練

英語ディベート部

- ALTや台湾の学生との交流を通しコミュニケーションツールとしての英語を習得する。
- 二年生一名 一年生五名
- パソコン室 生物室
- 毎週火 木 金曜日

ボランティア部

- 一人でも多くの人に役立てられるよう、自分たちができることを頑張る。
- 一三名
- 談話室
- 毎週月曜日の昼休み



文 芸 部

- 1 全国短歌甲子園優勝・俳句甲子園出場を目指しています。言葉と向き合う部活です。
- 2 二年生一名 一年生一名
- 3 談話室
- 4 毎週水曜日

ストリングオーケストラ部

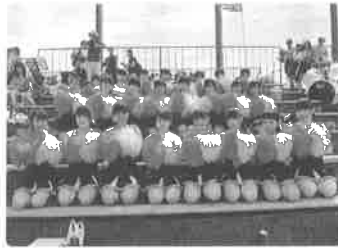
- 1 春の定期演奏会でそれぞれ良い演奏をする。い。
- 2 五名
- 3 相談室（平日） 鳳来館（土日）
- 4 平日（月曜除く）

チアリーディング部

- 1 野球部が夏の大会で最高のプレーができたことに、全力応援を目標に練習しています。
- 2 一三名
- 3 体育館ステージ
- 4 火曜日と金曜日

書 道 部

- 1 茨城美術展覧会などの作品展に向け、技術の向上と入選を目標に活動しています。
- 2 十名
- 3 特別棟三階図書室
- 4 毎週火曜日（それ以外は自主練習）



茶 道 部

- 1 茶道を通して日本の文化おもてなしの心、礼儀作法を楽しく学ぶこと。
- 2 二年生十名 一年生五名
- 3 茶道室
- 4 毎週火曜日

美 術 部

- 1 創作活動を楽しみながら、美大進学、作品展等の目標に向け、技術を向上させる。
- 2 二年生 二名
- 3 特別棟二階西側突き当たり美術室
- 4 木曜日（木曜日以外は自由参加）

応 援 団

- 1 活気ややる気のある生徒を応援団に入れる。夏の大会に向けて練習に励む。
- 2 二年生一名 一年生一名
- 3 体育館もしくは中庭
- 4 火曜日と金曜日（野球応援前は平日毎日）

吹 奏 楽 部

- 1 人々を笑顔にできるような演奏をする。
- 2 二年生一三名
- 3 一年生一四名
- 4 音楽室 平日、土曜日



理 科 部

- 1 若手が活躍できるアットホームな部活です。少数精鋭です。
- 2 八名
- 3 化学室
- 4 特に規定はないが、週休三日制です。

写 真 部

- 1 楽しい・おもしろいをモットーに活動
- 2 二五名
- 3 生物室
- 4 不定期

放 送 部

- 1 全国大会に向けて発声練習をしたりラジオドラマやテレビドラマなど番組を作成する。
- 2 二年生九名 一年生一名
- 3 放送室
- 4 平日月金

軽 音 楽 部

- 1 文化祭に向けて技能向上、音を楽しむことを目標に。
- 2 二年生三名 一年生七名
- 3 部室
- 4 平日のうち自分たちで決めた曜日



平成三十年度

職員異動

一 退職者			三 転入者		
校長	稲見 隆		校長	川松秀夫	
教諭(理科)	鯨 雅之		教諭(国語)	(鬼怒商より)	
教諭(社会)	齊藤浩一		教諭(国語)	鈴木康弘	
講師(社会)	増淵絵里		教諭(数学)	(並木中等より)	
講師(情報)	谷口 涼		教諭(数学)	谷中藤雄	
二 転出者			教諭(数学)	(下館二より)	
教諭(国語)	大吉 悟		教諭(数学)	安田智美	
教諭(数学)	(水海道二へ)		教諭(保体)	(笠間より)	
教諭(数学)	須藤幸一		教諭(保体)	横山貴史	
教諭(数学)	(三和高へ)		教諭(保体)	(鬼怒商より)	
教諭(数学)	酒寄和記		教諭(保体)	中村泰之	
教諭(保体)	(石岡二へ)		教諭(社会)	(結城一より)	
教諭(保体)	須藤崇史		係長	(古河一より)	
教諭(保体)	(保健体育課へ)		教諭(社会)	北川健一	
主任	(竜ヶ崎南へ)		教諭(社会)	(下妻一より)	
	小蘭江秀行		教諭(社会)	渡邊拓也	
講師(社会)	(協和特別支援へ)		再任用	(新規採用)	
	江尻康毅		再任用時短	(理科) 松山 修	
	(土浦二へ)		任用更新	(情報) 萩原 晃	
非常勤講師(数学)	中嶋鉄郎			(主事) 栗原直美	
	(水海道一へ)				



平成三十年度

同窓会学年幹事

一組	神田慎之介
二組	印波 美里
三組	藤巻 裕大
四組	中野 華希
五組	森田 惇平
六組	古口志穂美
七組	宮田 祐大
	石島 京香
	青木 脩平
	青木 花恵
	櫻井 琢巳
	高瀬梨花子
	金子 茂久
	渡邊 桃佳

卒業及び学年幹事就任にあたって

三年五組 青木 花恵
私は下館一高に入学し、三年間でたくさんの思い出や素敵な仲間を作ることができました。高校生活を振り返ると、

心に刻まれる思い出ばかりです。特に修学旅行は、グアムから関西に変更になってしまいました。が、ディナークルーズ、ユニバーサルスタジオジャパン、そして大阪、京都観光など一つ一つがとても楽しく、充実したものでした。仲間と過ごした三泊四日は、一生忘れられない思い出です。また、高校での部活動は、本当にあっという間でした。仲間と目標に向かって努力した二年半は私の宝物です。卒業を間近に控え、高校生活を振り返ってみると、とても充実した三年間だったなと改めて感じることでできました。

そして、今回同窓会の幹事を務めるにあたって、卒業後に仲間と再会できることや、クラスの連絡役を務められるのは荷が重いのと思う一方、やりがいがあることだと思えました。私たちの学年は、クラスをはじめ、学年全員とても仲が良く、良い雰囲気だと思っています。この下館一高を卒業しても今までと変わらない良い関係が続くように、また、みんなをつなげていくために、私なりに精一杯になりたいと思っています。

編集後記

今回初めて編集の仕事に携わるにあたり、昨年度までの仕事を担当なさっていた大吉先生(今年度水海道二高に転動)に多々ご相談にのっていただき、何とか完成に至ったこと、改めて彼に感謝の意を表したいと思います。

また、お忙しい中、快く寄稿下さった同窓会長さんはじめ、諸先生方、生徒諸君にもこの場を借りて御礼申し上げます。ご協力ありがとうございました。

さて、同窓会長さんの挨拶にもありますように、我が母校も、2023年に創立百周年事業を控えております。それに向けての第一歩として、二月十日に二年ぶりとなる同窓会総会が開かれる予定となっています。多くの方々のご協力を得ながら、私自身も同窓生として、その成功に向けて尽力していきたいと考えています。

編集委員

柴山佳美 中村泰之

太田一也

写真提供

鈴木写真館